障害のある人を対象とした神奈川県立学校教育職員[実習助手（総合）]

採用候補者選考試験で採用された先輩の活躍事例

採用区分

実習助手（総合）

障害の区分

精神障害

業務内容等について

担当する業務について

○授業・教科に関すること

（情報科）担当：コーディネータ（支援）

- ・ PC の管理、Wi-Fi の管理、G-suite のアカウント管理
- ・ 授業前に機器の設置接続準備、授業終了後に収納・充電、PC 等の故障、トラブル対応
- ・ 授業中、生徒のICT 機器操作等をサポート
- ・ 担当教諭と連携し教材準備や授業づくりについて打合せ、サポート

（家庭科）

- ・ ICT 機器を利用した授業への支援
- ・ 実習使用機器の準備、トラブル対応、故障の一次対応(補修修理)、設備機器の整理、掃除
- ・ 生徒の実習中の質問や作業の確認等の対応
- ・ 実習中は、所持している資格や民間での経験、工業の教員免許を取得した経験を活かして自分の出来ることでサポート。特に、危険事故防止に努めており、危険予知やヒヤリハット等を含めて担当教諭とコミュニケーションを図り実習が円滑にかつ安全に行える環境づくりを進めています。

（総合的な探究の時間）

- ・ 学年生徒の前で経験談を話す場面や進路の面接対策で直接生徒と関わる場面もあります。

○校務分掌に関すること

所属：研究広報グループ

- ICT 機器(プロジェクタ、クロームブック)の管理、整備
- 校内ネットワーク(学校無線 LAN Wi-Fi、BYOD)の対応、接続の設定
- アカウントパスワードの対応、教材アプリの運用管理
- ICT 利活用教育(一人一台端末活用)の対応・支援
- 学校説明会・全公立展等の運営

○その他の業務に関すること

- 保健室業務支援(健康診断のサポート支援、養護教諭の補佐)
- 資料作成、印刷業務、会計業務、電話対応、部活動(ダンス部、JRC 部)
- 職員室での PC 関係等の相談、トラブル対応
- 学校行事(体育大会、文化祭等)運営のサポート
- 生徒対応の場面では、相談を受けた内容を担当教諭へ繋ぐ等、あらゆる場面で橋渡し役になれるよう心掛けています。

職場の雰囲気、やりがいなど

私自身、高校時代の恩師のように自分もいろいろなきっかけを与えられるような先生になりたいと思い、教員免許を取得しました。自身の障害や民間企業での経験、介護をしていた経験等を活かして、夢だった「学校現場で働く」といったことが実現できています。生徒に名前を覚えてもらえることや、「ありがとう」、「説明がわかりやすい」と言われるとやりがいを感じます。

障害の有無、性別や職種、生徒や職員関係なく助けたり助けられたりすると感じています。学校現場ですので生徒はもちろん先生もいろいろな方がいます。皆ちがう人同士が集まって、ひとつの組織やクラスが成り立っています。まずは自分自身のことについて周りに話して打ち解けてみてください。雰囲気は良いと思います。

誰かが困っていたら自分のできる範囲でサポートをしましょう。助けたり助けられたりそれが大切なことだと日々実感することができる学校現場です。

職場環境について

民間企業を含めていろいろな職場を経験してきましたが、現在の所属は私にとっては非常に良い職場環境です。職員同士仲が良く困っていたら声をかけてくれる心のバリアフリーを感じる学校で、管理職の先生も困った時や判断に迷ったときは相談に乗ってくれますし、校長も職員室や授業をよく見に来てくれるのでとても話しやすい環境です。保健室や図書室、事務室、技能員室などにも気軽に相談や話に行けるのでとても居心地が良いです。

実習助手（総合）を目指す皆さんへメッセージ

技術の進歩が激しい中、常に最新の技術や情報に敏感に学び続けることが大切だと思います。そのための手段として、総合教育センター等が実施している研修を受講することができます。専門分野にとらわれず学ぶことができる場があるのも魅力的だと感じています。

そして、夢があるなら諦めないで、自分がやりたいと思ったことがあるならば精一杯チャレンジしてみてください。実習はトライアル&エラーです。今できることを精一杯行い、できないことにもチャレンジして少しずつできることを増やして行ってほしいです。このことについて行動を通して生徒にも伝えていける職種が実習助手だと思います。

生徒にとっては、実習助手もみんな「先生」です。生徒に「先生いつも頑張っているね」と言われることがあります。どんな生徒に対しても誠実に接することで、その姿勢は必ず生徒に伝わると思います。